

防災サバイバルインフォメーション めいわ

2026/AUT

明和町総合防災訓練2026



◎日時 2026年11月29日（日） 11時～

◎場所 明和北小学校ほか

11時に南海トラフ地震が発生した想定で開催します。主会場に来られない方も、その時にいる場所で必要な避難行動をとる訓練を実施しましょう。

◎主会場での訓練内容

炊き出し訓練（ふるまい）、ミニ防災講座、防災関連企業の展示、こども向け防災クイズ、消防車やパトカーとの写真撮影など、こどもから大人まで楽しみながら防災を学べる企画を実施します。また、キッチンカーも来場しますので、お誘いあわせの上ご来場ください。詳細は、10月末から配布予定のチラシをご覧ください。



↑訓練ホームページ



豪雨災害に備えて

◎関東地方を中心とした豪雨災害

本年8月～9月にかけて、千葉県をはじめとした関東地方では豪雨災害が相次ぎました。中でも、千葉県の一部地点で、1日の降水量歴代順位のうち、8月13日の降雨量が1位、9月21日の降雨量が2位になるなど、これまでに経験のない降雨が発生しました。9月22日には印旛沼が決壊し、仮堤防の完成までに9日間を要するなど、影響は長期化しました。

これらの災害で亡くなられた方のご冥福をお祈りするとともに、被害に遭われた皆様にお見舞いを申し上げます。

◎被害を軽減するために

このような災害は、他人事ではありません。明日は我が身と備えていただくことが大切です。皆さんやご家族の生命を守るため、しっかり準備をしておきましょう。

①ハザードマップでご自宅などの安全性を確認する

河川や高潮の危険地域を確認し、今いる場所が安全かどうか確認しましょう。

※ハザードマップは配布済ですが、データはこちらからも確認できます→



②危険な場合の避難先・避難方法を検討する

何をきっかけに、どこに避難するのかを決めておくことが大切です。

また、安全な経路を選ぶためにも、普段から避難先まで歩く練習をしておきましょう。

③非常持出品を準備する

避難を決めても、準備に時間がかかると遅れてしまいます。

すぐに持ち出せるところに、リュックなどに入れて準備しておきましょう。

◎情報を確実に入手する

避難につながる情報をしっかり手に入れることが大切です。町では公式LINEなどで情報を発信しますが、テレビ、ラジオ、WEB、民間の防災アプリのほか、三重県公式アプリ「みえ防災ナビ」も有効です。



↑みえ防災ナビ



↑明和町公式LINE

明和町防災安全課

TEL：0596-52-7110

E-Mail：bousai@town.mie-meewa.lg.jp

火災に注意！！

◎火災が多くなる季節

秋から冬にかけては、空気が乾燥し、風が強い日が増えます。ひとたび火災が発生すると、あっという間に周囲へ燃え広がってしまいます。また、気温が下がり、暖房器具や火を使うことも増えてきます。キャンプなどレジャーでの使用も含め、火の取り扱いには十分に注意しましょう。



◎屋外でも火災に注意

乾燥注意報の発表時や風の強いときは、屋外での火気使用を控えましょう。また、野焼き行為は原則禁止されています。例外的に認められた焼却行為を行う場合も、必要な届出等を行った上で、万が一の時にはすぐに消火できる環境を整えておきましょう。

家の外などに燃えやすいものを置かないようにすることも大切です。

◎暖房器具等の使いはじめは……

物置などにしまっていた暖房器具は、ホコリの蓄積や故障、電源ケーブルの劣化などにより危険な状態になっていることもあります。使用前には丁寧に点検・清掃を行うとともに、製造年や設計上の標準使用期間も確認して安全に使用しましょう。



大雨時の移動や避難における注意点

◎長靴ではなく運動靴で

冠水している道路などでは長靴を使いたくなりますが、水が入ると重くなり身動きが取れなくなったり、簡単に脱げてしまったりすることがあります。動きやすさも考え、靴紐をしっかりと縛った運動靴で避難しましょう。



◎マンホールやアンダーパスに注意！

道路が冠水すると、マンホールや側溝のふたが開いていても見えなくなり、足を取られて大けがをする恐れがあります。また、道と田んぼや畑、用水路などとの境目もわからなくなります。普段からしっかりと避難路を確認しておくとともに、傘などの棒を杖代わりにして路面の安全を確認することも有効です。加えて、アンダーパスなど低い場所は水の深さがわからなくなり、進入してしまった結果、大事故につながる可能性があります。大雨災害時には近づかないようにしましょう。



◎万が一車で水没してしまったら……

- ①まずは落ち着いて窓を開けてみましょう。エンジンが切れても、電気装置が機能していれば開けられる場合があります。開いた際は、そこから脱出しましょう。
- ②シートベルトを外しましょう。うまく外れない時は、シートベルトカッターを使います。
- ③窓やドアが開かない時は、緊急脱出用ハンマーで窓を割って脱出します。また、ヘッドレストの金具部分を窓ガラスとドアの間に差し込み、てこの原理で破壊できる場合もあります。ただし、合わせガラスになっていると、割ることは難しくなりますので、事前に確認しておきましょう。（ガラスの端にある刻印や各社HPなどで確認可能です）
- ④それでも脱出できない時も、落ち着いて行動することが大切です。徐々に車内に水が満たされ、外との水位差が小さくなると、水圧も下がり、ドアが開けやすくなります。タイミングをみて、一気に開けて脱出しましょう。

参考：各自動車メーカー・JAFホームページ

